

Central Daily Market Report

2024年3月19日(火)
セントラル短資株式会社 総合企画部

●資金需給

単位: 億円	2024年3月19日 需給速報	2024年3月21日 需給予想	2024年3月22日 当社予想			
銀行券	▲ 600	▲ 500	▲ 1,000			
財政	7,800	83,900	2,000			
資金過不足	7,200	83,400	1,000			
金融調節	スタート	エンド	スタート	エンド	スタート	エンド
貸出						
全店共通	23,500	▲ 8,300				
国債買現	28,500		▲ 28,500			
国債売現						
国庫短期証買入						
国債買入						
CP等買入			▲ 100			
貸出支援基金(成)						
貸出支援基金(貸)						
被災地支援 社債等買入		▲ 100	1,000			
気候変動対応オペ						
ETF買入						
国債補充供給	▲ 42,600	34,400	42,600			
※FOMC資金供給用担保提供						
当預増減	42,600	98,400	1,000			
当座預金残高	5,434,800	5,533,200	5,534,200			
準備預金残高	4,748,900					
積み終了先	4,740,100			3月21日以降の残り所要積立額		
超過準備	4,735,700			積数	42,400	
非準備預金先	685,900			1日平均	1,600	
積み期間(3/16~4/15)の所要準備額					4,047,500	
準備預金進捗率	実績	98.95%	日数	16.13%		

●2024年3月19日の市場動向

<インターバンク市場>

本日の無担O/N物は、前場は▲0.001~+0.001%での出合いが中心となった。後場は日銀金融政策決定会合の結果を待ち運用を控えていた先から▲0.003~▲0.001%程度での運用が見られた。

また金融政策決定会合では、金融政策の枠組みの見直しが行われ、マイナス金利政策の解除などが公表された。

<レポ市場>

GC T/Nは、▲0.055~+0.030%程度での出合いとなった。SCは、ロールオーバーを中心に幅広い銘柄で取引が見られた。

<短国市場>

19日のアウトライイト市場では、3M物、1Y物で出合いが見られた。

<CP市場>

CP発行市場は、数件の入札が実施された。発行レートは、前日比で概ね横ばい圏で推移した。

●2024年3月20日の予定

*春分の日 *米FOMC(2日目) *FRB 米経済見通し発表 *2月の英消費者物価指数

●2024年3月21日の予定

*2月の貿易統計 *流動性供給入札(5,000億円、3/22発行)
*10-12月期の資金循環統計速報 *英中銀MPC *2月の米中古住宅販売

●短期金融市場関連指標

2024/3/19	無担(速報)			有担(速報)			短国 売買参考統計値	東京 レポレート 平均値
	最低	最高	平均	最低	最高	平均		
O/N	▲ 0.087	0.001	▲ 0.001				-	▲ 0.181
T/N			0.070				-	▲ 0.045
S/N							-	-
1W							-	0.000
2W							-	▲ 0.011
3W							-	▲ 0.002
1M							-	0.004
3M							▲ 0.010	0.040
6M							0.050	0.067
1Y							0.090	0.100

JGB新発10年債		日経平均株価		ドル/円		
直近値	前日比	15時時点	前日比	為替(9時)	為替(17時)	
0.725	▲ 0.030	40,003.80	+263.16	149.13-15	150.25-27	
日付		3/12	3/13	3/14	3/15	3/18
日銀当預残	5,317,600	5,298,500	5,303,100	5,309,600	5,392,200	
準備預金残	4,647,000	4,637,200	4,635,400	4,636,200	4,714,000	
マネタリーベース	6,575,300	6,555,700	6,560,600	6,566,200	6,648,500	
無担O/N加重平均	▲ 0.011%	▲ 0.011%	▲ 0.009%	▲ 0.005%	▲ 0.003%	
コール市場残高	216,395	196,868	202,387	164,112	158,272	
うち無担	188,064	168,243	173,895	136,502	129,991	
うちO/N	107,521	90,650	98,952	80,169	78,228	
うち有担	28,331	28,625	28,492	27,610	28,281	

●オペ結果

種類	オファー額 (億円・ 百万ドル)	スタート日	エンド日	貸付 利率*	応札総額 (億円・ 百万ドル)	落札総額 (億円・ 百万ドル)	按分レート ・利回較差 ・価格較差	全取レート ・利回較差 ・価格較差	平均落札レート ・利回較差 ・価格較差	按分 比率
米ドル資金供給		2024/3/22	2024/3/28	5.580	0	0				
国債補充供給(国債売現先)・即日(午前オファー分)		2024/3/19	2024/3/21	▲ 0.350	43,078	43,078		▲ 0.350	▲ 0.350	
国債補充供給(国債売現先)・即日(午後オファー分)		2024/3/19	2024/3/21	▲ 0.350	0	0				

●日銀政策決定会合・結果

●金融政策の枠組みの見直しについて

1. 日本銀行は、本日、政策委員会・金融政策決定会合において、資金と物価の好循環を確認し、先行き、「展望レポート」の見直し期間終盤にかけて、2%の「物価安定の目標」が持続的・安定的に実現していくことが見通せる状況に至ったと判断した。これまでの「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」の枠組みおよびマイナス金利政策は、その役割を果たしたと考えている。日本銀行は、引き続き2%の「物価安定の目標」のもとで、その持続的・安定的な実現という観点から、短期金利の操作を主たる政策手段として、経済・物価・金融情勢に応じて適切に金融政策を運営する※1。現時点の経済・物価見通しを前提にすれば、当面、緩和的な金融環境が継続すると考えている。

以上を踏まえ、金融市場調節方針等については、以下のとおりとすることを決定した。

(1) 金融市場調節方針(賛成7反対2)

次回金融政策決定会合までの金融市場調節方針は、以下のとおりとする。
無担保コールレート(オーバーナイト物)を、0~0.1%程度で推移するよう促す※2。

(2) 長期国債の買入れ(賛成8反対1)

これまでと同程度の金額※3で長期国債の買入れを継続する。長期金利が急激に上昇する場合には、毎月の買入れ予定額にかかわらず、機動的に、買入れ額の増額や指値オペ、共通担保資金供給オペなどを実施する。

(3) 長期国債以外の資産の買入れ(全員一致)

①ETFおよびJ-REITについて、新規の買入れを終了する。

②CP等および社債等について、買入れ額を段階的に減額し、1年後をめどに買入れを終了する。

(4) 貸出増加支援資金供給等の新規実行分の扱い(全員一致)

貸出増加支援資金供給、被災地金融機関支援オペ、気候変動対応オペについては、貸付利率を0.1%、貸付期間を1年として実施する。貸出増加支援資金供給については、貸出増加額と同額までの資金供給が受けられる仕組みとする。

※1マネタリーベースの残高に関するオーバーシュート型コミットメントについては、その要件を充足したものと判断する。

※2この方針を実現するため、日本銀行当座預金(所要準備額相当部分を除く)に0.1%の付利金利を適用する。新たな金融市場調節方針および付利金利は、翌営業日(3月21日)から適用する。

※3足もとの長期国債の月間買入れ額は、6兆円程度となっている。実際の買入れは、従来同様、ある程度の幅をもって予定額を示すこととし、市場の動向や国債需給などを踏まえて実施していく。

●本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

●本資料は何かの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。

●金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くことがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関関東財務局長(登金)第526号 日本証券業協会加入